

相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター28号 2006.10.14発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 大館 学
編集長 近藤 真史

定例活動／6月24日(土)

「トンボ池周辺グレードアップ作戦」

村田 英二

6月の定例活動は恒例となったトンボ池周りの草刈り、よし張り等の環境整備を実施しました。

梅雨時期にもかかわらず、当日は晴れ間の見える好天に恵まれました。また今回見学の女性4名と井の元子ども会8名(内子ども6名)の特別参加があり、総勢25名にも及び大人数での活動でした。

大人数での作業だったこともあり、トンボ池周辺はあっという間に綺麗になり、午前中であらかたの作業が完了しました。

池周辺は見通しがよくなり、これに合わせてトンボやチョウチョが飛来してきました。眠っていたカエルも目を覚まして、子どもたちの歓声が飛びかう大変和んだ雰囲気でした。

今回の作業は、地域の子供たちに身近な自然に触れられる場所を提供できたことがよかったです。

午後からは各自気のついた場所で環境整備に汗を流しました。汗ばむ陽気の中で、作業後には多少の疲れを覚えました。森が目に見えて綺麗になっていく作業は気持ちがいいです。



▲地元子ども会らの特別参加メンバーとともに、作業後の記念撮影

なお、今回の作業に使用した鎌は「安心・安全・快適まちづくり活動」の助成金で購入しました。

関係者のご協力に感謝します。

焼失から1年2ヶ月 ついに小屋の再建を果たしました！

大館 学



▲1年2ヶ月ぶりに復活した小屋とその再建を果たしたメンバー

昨年5月の放火事件により焼失した小屋の再建作業を7月15日(土)に会員6名の参加で行いました。

「緑のまちづくり活動に関する協定」を調印したことで、里山の管理活動に必要な工作物の設置(3条4項)が認められることになり、土木事務所の承認を受けた上で作業にかかりました。

小屋は、野浪さんが中古のものを火事のあとすぐに手にいれ保管しておいてくれたもので、現地搬入も野浪さん

一人で頑張ってくれました。当日は午前中にコンクリートブロックによる基礎づくり、午後には組み立ての段取りで思ったよりスムーズに仕事はかどりました。ただ、当日は梅雨の晴れ間で湿度も高く作業終了後は全員かなり疲れた様子でした。

なお、この土地は以前会員であった森山秀男さんの所有で、今回の再建についても快く了解をいただいたことを付け加えさせていただきます。

10月28日(土) 第8回 どんぐり祭り を開催します!!

当くらぶと名古屋市との協働による秋の恒例イベント。

クラフト、木登り体験、丸太切り大会など、子どもから大人まで楽しめる催しが一杯!

ご家族で是非ご参加下さい!

時間/午前10時~午後3時 場所/集いの広場ほか

詳しくは、事務局までお問い合わせいただくか、当くらぶホームページよりチラシをご覧ください。

(<http://f44.aaa.livedoor.jp/%7Eoasis/kiroku/2006/1028/8donguri.pdf>)

定例活動〔第1回雑木林塾〕／7月22日(土) 「森の安全と応急手当救急講習会」

真弓 浩二・大館 学

7月の定例活動は、今年度オアシスの森くらぶが主催する「雑木林塾」の第1回目となる「森の安全と応急手当救急講習会」が、午前中の座学と午後のフィールド実習といった構成で開催されました。

講師には名古屋市消防局応急手当普及員で、日本自然保護協会・日本野鳥の会会員でもある徳田祐一さんをお迎えし、救急活動のみならず自然環境の保全活動などの豊富な経験に基づいた数々のお話によって、私たちの普段の活動に直結する実践的な講習会となりました。

20名の受講者が集まった午前中の山根コミセンでの座学では、

- 危険を予知し回避する責任はボランティア活動でも問われること。
- フィールド選定の注意義務、フィールドの事前調査義務、参加者やスタッフへの注意監督義務、非常事態での危機回避と救急体制の義務が求められること。
- 安全管理には予知と予測が重要で、予想や予言は使えないこと。
- 安全管理には、自然的要素、装備的

要素、身体的要素、精神的要素、計画的要素の5つの要素への注意が必要であること。

- 森の活動に必要な装備として、水(虫さされや傷口洗浄)・バンダナ(怪我の手当て)・レジ袋(血液に直接触れない)の携帯が緊急事態に有効であること。
 - 緊急事態の現場では簡単に思われる119番通報がなかなかできないということ。
 - 子どもの怪我などは、小さなものでも必ず主催者から直接保護者に伝えておくことが重要であること。
- …など、私たちの現場活動で即役立つ有益なお話をたくさん伺うことができました。



▲午前の座学の様子(山根コミセンにて)



▲午後のフィールド実習の様子

午後は集いの広場に場所を移して実地での研修となりました。

まず最初に119番をかけるとき森の中の場所をわかってもらうことの大切さについて説明があり、救急の人を森の中に案内する森の外の目印や誘導、人がいないときは森の外まで被災者を運ぶ技術が必要なことを教わった上で、実地研修に入りました。

特に被災者を運ぶ技術のいろいろを学びました。一人で担ぐのはなかなか大変で、2人で両脇から支えて運んだり、森から切り出した竹とブルーシートで簡易担架を作って実際に人を乗せてみたり、みんなでかわるがわる体験をしました。

例年この時期の森は蚊が多いので、森での活動は避けていたのですが、案の定たくさん刺されて、蚊取り線香とかゆみ止めが大活躍の研修でした。

特別活動／7月1日(土)・15日(土) 「トライアルサタデー 子ども自然体験クラブ」

阿部 龍雄

7月1日(土)と15日(土)の2日間にわたり名古屋市天白生涯学習センター主催講座の<トライアルサタデー>子ども自然体験クラブが相生山緑地で開催されました。この講座にわがクラブは、講師として阿部、大館、真弓等が参加し、指導・解説を行いました。

この講座は天白区内の自然について学ぶとともに「自然を楽しみながら大切に作る」活動をしている人達と自然体験をすることを目的としています。

1日目は、参加者が子ども中心に22名で、(トンボのための環境・ヤゴの観察をしよう)をテーマに、トンボ池

周辺で観察や採集を行いました。トンボはシオカラトンボ、オオシオカラトンボの成虫、ヤゴ等が観察できました。

2日目は、参加者が32人で(セミの寿命・セミの抜け殻を探そう)をテーマに山根口、菅田口を中心に、観察・採集行いました。当日は残念ながらセミは鳴いておらず発見できませんでしたが、コナラ、アベマキの樹液がでていところで、クワガタやカナブンの観察を行いました。

2回の講座とも10:00~12:00の2時間の活動でしたが、参加した子どもたちは、日頃見なれない昆虫に出会う



▲タモと虫かごを手に、昆虫採集に向かう子どもたち

たびに歓声があがっていました。また鋭い質問が多く講師も大慌てで答えていました。

最後に、この講座は参加した子ども達や、指導したわたし達にも大変有意義なものでした、来年も開催されるとよいと思います。

定例活動〔第2回雑木林塾〕／8月26日(土) 「相生山の地形・地質・水系を知る」

伊藤 晶子

8月の定例活動は、昨年好評だった村松先生を迎えての講義。会員を含めて参加者は20名の盛況でした。

午前中は山根コミセンで座学です。地球46億年の地質の歴史を1時間半で学習しタイムマシンに乗った気分になりました。

相生山の白っぽい石ころは約100～80万年前に古木曾川、古矢田川その他の河川が網状に流れ、氾濫を繰り返して土砂を堆積し作られた八事層のチャ

ートだそうです。チャートは水成岩で堅いが表面が風化されやすく白くなるのが特徴です。

午後はフィールドワークで、集いの広場に集まりました。講義前に服部さんが白っぽいチャートを割ってみると、中はきれいな赤茶色で歓声を上げました。みんなもつられて次々に割ると、中は様々な色と模様で見とれました。ベンチに並べて展示会です。

その後、道路工事中の現場に特別に



▲道路工事現場で相生山の地質を観察する参加者たち

入れてもらい、切り崩した道路側面を観察。チャートの混ざった相生山の内部の地質を実際に見ました。

相生山が別の顔を見せた1日でした。

定例活動〔第3回雑木林塾〕／9月23日(土) 「雑木林の植生とその管理を学ぶ」

大館 学

9月の定例活動は三重大学名誉教授の武田明正さんを講師に招き、長年林学分野で研究を続けてきた先生の森林に対する考えを学びました。

基本は、「やりながら(観察しながら、反応を見ながら)順応的に管理をしていく。」という、とてもわかりやすい教えて、名誉教授というよりご近所の好々爺と行った感じで、和やかな雰囲気での講座でした。

その中の一部を紹介すると、植生は乾・湿、明・暗といった環境傾度によ

り異なり、雑木林の管理においても現場をよく見て環境にあった管理が必要であるとか、様々な遷移を踏まえて育林を考える上でのギャップ更新のやりかたなど、科学的に見る目を持った作業を今後の活動に生かしていけると思いました。

午後は、ツツジの園、アカマツ林、コナラのギャップ箇所などを回り、これまでの作業箇所について助言をいただきました。ここところ雨が多かったです。そこそこできのこが顔を出



▲武田先生(右から2人目)を囲み、植生管理術を学ぶ参加者たち

してあり、ツクツクボウシの鳴く中最後は緑陰講座の感じでいろいろ質問が生徒から出て、時間オーバーの第3回講座でした。武田先生ありがとうございました。

シリーズ『森の住人たち』⑮ ～ナガサキアゲハ(長崎揚羽)～ ただいま北上中

アゲハチョウ科

開長 12cm内外 環境 本州関東以南



親子連れが捕獲したナガサキアゲハ(相生山緑地にて)

大きな捕虫網を手にした男性とすれ違った。何を探しているのか、気になって尋ねる。

「ナガサキアゲハっていうチョウ、知ってるかな。この森に来ていると聞いたんでね」

10年前のことである。

ナガサキアゲハは、もともと九州地方以南の冬でも比較的暖かい地方に生息する南方系のチョウである。しかし、それが本州に上陸し近畿地方までに到達していることは知識としてあった。しかし、相生山緑地にも飛来していることは、そのとき初めて知った。ナガサキアゲハの食樹がミカン類であることを思い出す。ミカン畑が点在する相生山緑地は好適地といえる。

かつての昆虫少年がそのまま大人になったであろうことが容易に想像できるその男性は、ナガサキアゲハがさらに北上していくであろうことをひとしきり話すと、また周囲を見回しながら歩いていった。

あれから10年、相生山緑地ではナガサキアゲハをごく普通に観察できる。すでに関東地方でも定着していることが確認されたという。

「地球温暖化」が、生きものたちの生息域を広げている。私たち人間にとっても生活上、大きな問題である。さて、私たちになにができるのだろうか。私たちは、何をしなければならないだろう。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

特別活動／9月17日(日) 「環境デー名古屋2006」出展

伊藤 晶子

「大型台風13号接近中！」と度々報じられやきもきましたが、当日は薄曇りのまあまあの天気。今年はエンゼル広場の割と良い場所のブースで、近くには戸田川みどりの夢くらぶやなごや東山の森づくりの会などパートナーシップ連絡会の仲間が出店しており、和気あいあいと準備にかかりました。

竹工作名人の森さんが用意した竹クワガタ、竹トンボスタンド、竹ゴマ、竹トンボ、跡見さんの大根鉄砲、大館さんの焼き印ペンダント等が並び、回りのブースから偵察が入ってかなりの注目を集めました。

開会前から人々が各ブースを巡りはじめ、当ブースのところに来ると、大根鉄砲の前で立ち止まり、年配の人は

「なつかしいねえ！」と声を上げ、子どもたちは「一体何？」とキョトンとします。ここで村田さんが一声「やってみますか？」 大人は数発打って童心に返り大破顔、子どもたちは撃ち方を教えてもらって発射「すげえ！」と大歓声。その後、祖父母同伴の子どもはお買い上げ、母親と同伴の子もは「ありがとう」と言って立ち去る傾向もありましたが、それもよし。焼き印も大人気で、3歳くらいの女の子から大人まで老若男女が無心にノコギリをひいて丸木を切り、当くらぶオリジナルの焼き印を押しペンダントにしてうれしそうに持ち帰っていました。

つくづく本源的なところで人は自然を求めているのでは、と感じました。



▲くらぶのPRを行う広報担当メンバー

3時半頃ににわか雨が降り出し、大慌てで店じまい。そのまま自然と閉会を迎えました。一般の人に「オアシスの森くらぶ」に多少親しみを持ってもらえた一日でした。

● 会員募集中! ●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

- 会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。
- 振り込み先(郵便局)
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725
連絡は事務局までどうぞ

ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらぶのホームページをもっと楽しくしたい!” “定例活動には出られないけど、自宅でできることなら手伝えたい”等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi_k@muf.biglobe.ne.jp (近藤)

森の解説板の設置が完了!

5月27日(土)の定例活動において、昨年9月に引き続き、まだ解説板を設置してなかった山根口周辺の竹林とアカマツ林再生箇所、ツツジの園づくりの3ヶ所への設置が完了しました。

園内を散策される方に「くらぶの活動の内容と意義」をうまく伝えることができるということです。



▲ツツジの園での解説板設置のようす

(関連記事→ニュースレター26号)

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

- 10月28日(土) 第8回 どんぐり祭り
- 11月25日(土) 竹の話と竹林管理★
- 12月23日(土) 正月準備(門松づくりと梅の剪定)

2007年

- 1月27日(土) 花のある雑木林づくり★
- 2月24日(土) アカマツ林の再生★
- 3月24日(土) 雑木林の味わい方★★

- ★「雑木林の達人養成講座」を兼ねる
- ★★「雑木林塾」を兼ねる

情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局
伊藤百寿人 052-895-8523
中島己治男 052-803-9534

■ホームページをご覧下さい

URL address : <http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>
★ ニュースレター(本号)のカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。
★ 定例活動・特別活動の報告や予告(チラシ)を随時更新しています。